

事業用大規模建築物における 廃棄物管理責任者の選任と 再利用計画書の提出について

延べ床面積 1,000㎡以上 3,000㎡未満の事業用大規模建築物用

新宿区では事業用大規模建築物の所有者の方にごみの減量・リサイクルの推進をするため、条例に基づき廃棄物管理責任者の選任及び再利用計画書等の提出をお願いしています。再利用計画書等は、年度ごとに作成し、毎年5月末日までに提出してください。

● 提出していただく書類

- 事業用大規模建築物における再利用計画書
- 当該建築物を使用している事業者（所有者・テナント等）の名称一覧
- ごみ処理・リサイクルフロー図
- 廃棄物管理責任者選任届（新たに選任又は変更する場合）

● 各種用紙は、新宿区ホームページから印刷（ダウンロード）できます



新宿区サイト内検索

再利用計画書

検索の方法

- ① 新宿区ホームページトップ (<http://www.city.shinjuku.lg.jp/>) の新宿区サイト内検索から「再利用計画書」と検索してください。
- ② 検索結果から「事業用大規模建築物所有者等の義務・役割」をクリックし、「延床面積1000㎡以上 3000㎡未満」の項目から各種用紙を選択してください。

● 提出方法

郵送、メール、持参又は電子申請 (LoGo フォーム)^{*}にてご提出ください

^{*}令和7年3月をもって東京共同電子申請システムは終了しました。LoGo フォームをご利用ください。

● 郵送・メールの提出先及び問い合わせ先

〒161-0033 新宿区下落合二丁目1番1号
新宿清掃事務所 事業系ごみ減量係
shinsei-recycle@city.shinjuku.lg.jp（各種書類提出専用）
TEL 03（3950）3814

● 電子申請 (LoGo フォーム) の提出先^{*}

- ① 新宿区ホームページトップ (<http://www.city.shinjuku.lg.jp/>) の新宿区サイト内検索から「再利用計画書」と検索してください。
- ② 検索結果から「事業用大規模建築物所有者等の義務・役割」をクリックし、「○提出方法について(3)電子申請 (LoGo フォーム) を利用する場合」から提出してください。



事業系ごみの減量にご協力をお願いします

令和7年4月

I 提出書類の作成方法・記入例

1 事業用大規模建築物における再利用計画書

建築物の属性、廃棄物等の収集運搬業者、ごみ減量及び再利用の現況と課題、再利用に関する計画等を記入します。

第2号様式(第12条関係) (整理番号)
2001

令和 ○ 年度
事業用大規模建築物における再利用計画書
(延べ床面積1,000㎡以上3,000㎡未満の事業用大規模建築物)

① 令和○○年 ○月 ○○日

新宿区長 建築物名称 ○○株式会社本社ビル
建築物所在地 新宿区新宿○丁目○番○号
所有者住所 新宿区南新宿○丁目○番○号
所有者氏名 ○○株式会社 代表取締役
新宿 太郎

〔法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名〕
電話番号 ○○-○○○-○○○

新宿区リサイクル及び一般廃棄物の処理に関する条例第23条第3項の規定により、事業用大規模建築物における再利用計画書を以下のとおり提出します。

建築物の属性			② 建築物の用途	
階数:地上 ○ 階 地下 ○ 階	事業用延べ床面積	1,500 ㎡	事務所	3 社 800 ㎡
④ 廃棄物の種類	廃棄物収集運搬業者	中間持込先	店舗(飲食店を除く)	1 店 500 ㎡
一般廃棄物	○○クリーン株式会社	23区清掃工場	飲食店・ホテル・式場	1 店 100 ㎡
産業廃棄物	株○○サービス	○○センター	工場・研究施設	所 ㎡
特別管理廃棄物	株○○商事	株○○	倉庫・流通センター	所 ㎡
⑤ 再生資源の種類	再生資源回収業者	最終持込先	医療機関	所 ㎡
紙類	株○○商会	株紙業	学校・その他	㎡
機密文書等	株○○セキュリティ	株○○○社	住宅	世帯 ㎡
ミックスペーパー	○○グリーン株	株○○製紙	共用部分	100 ㎡
飲食用びん・缶類	○○運輸株	株○○エコロジー	建築物の合計	1,500 ㎡
生ごみ(食品リサイクル)	○○運輸株	○○センター株	③ 在館人員	
ペットボトル	○○運輸株	○○センター株	従業員(事業者(テナント等)含む)	100 人
食用油	○○運輸株	○○商事株	外来者(1日平均の人数)	30 人
⑥ 廃棄物発生量・再利用量等内訳 前年度実績(4月～3月)			⑨ ごみ減量及び再利用の現況と課題	
種類	発生量	処理区分		テナントが増えることによって、ごみの発生量の増加が見込まれる。
		再利用量	廃棄量	
再生資源 ⑦	コピー・OA用紙・一般古紙	1.5 t	1.5 t	0.0 t
	機密文書等	1.0 t	1.0 t	0.0 t
	機密・パンフレット・教材等類	0.5 t	0.5 t	0.0 t
	新聞紙・折込チラシ	1.0 t	1.0 t	0.0 t
	段ボール	1.0 t	1.0 t	0.0 t
	ミックスペーパー	1.5 t	1.5 t	0.0 t
	生ごみ(食品リサイクル)	0.5 t	0.5 t	0.0 t
	飲食用びん・缶類	0.5 t	0.5 t	0.0 t
	ペットボトル	1.0 t	1.0 t	0.0 t
食用油	0.2 t	0.2 t	0.0 t	
再生資源物 合計 (A)	8.7 t	8.7 t	0.0 t	
廃棄物 ⑧	可燃ごみ(一般廃棄物)	4.5 t	0.0 t	4.5 t
	不燃ごみ(産業廃棄物)	3.0 t	3.0 t	0.0 t
	特別管理廃棄物	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	廃棄物 合計 (B)	7.5 t	3.0 t	4.5 t
総合計 (A+B)	16.2 t	11.7 t	4.5 t	
再利用率(D/C×100)		72.2 %		
⑫ 備考				⑩ ごみ減量及び再利用の目標
				1 今年度の目標 再利用率 75.0 %
				2 ごみ減量及び再利用推進のための取り組み
				各テナントへ定期的なごみの分別状況や正しい分別方法についてチラシなどを配布し、周知・啓発を行っている。飲食店などには生ごみの水切りや食用油の適正な処理をお願いしている。

(1) **年月日**

再利用計画書を提出する日付を記入してください。

(2) **建築物の用途**

「共用部分」は、専用部分に含まれない階段、廊下、ロビー等の施設の面積を記入してください。

(3) **在館人員**

日中の平均的な人員を記入してください。おおよその数で構いません。

(4) **廃棄物の種類 廃棄物収集運搬業者 中間持込先**

建築物から排出された全ての廃棄物について、提出日現在に契約している廃棄物収集運搬業者の会社名、及び中間持込先の施設名を記入してください。複数の業者と契約しており、この欄に書き切れない場合は、主たる業者について記入してください。中間持込先は、廃棄物を最初に施設名を契約書等で確認してください。また、中間持込先が複数ある場合は、主たる施設名を記入してください。

(5) **再生資源の種類 再生資源回収業者 最終持込先**

建築物から排出された全ての再生資源について、提出日現在に契約している再生資源回収業者及び最終持込先の会社名を記入してください。複数の業者と契約しており、この欄に書き切れない場合は、主たる業者について記入してください。最終持込先は、契約書等で確認してください。また、最終持込先が複数ある場合は、主たる会社名を記入してください。

(6) **廃棄物発生量・再利用率等内訳 再生資源**

前年度に、建築物から排出された全ての再生資源及び廃棄物の発生量の実績、その実績の再利用率と廃棄量の内訳及び再利用率を記入してください。また、事業者（所有者・テナント等）が個別に廃棄物の収集運搬契約をしている場合は、それらの量も確認し、合算してください。

数量及び率については、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までの表示にしてください。

(7) **再生資源**

再生資源として分別・回収され、再利用されたものを記入してください。

「機密文書等」は、溶解処理等をした紙類を記入してください。シュレッダーくずは「ミックスペーパー」に含めてください。

「ミックスペーパー」は、再生資源として分別・回収された紙類のうち、「コピー・OA用紙・一般古紙」～「段ボール」に該当しない紙類を記入してください。

「生ごみ（食品リサイクル）」は、再生資源として分別・回収され、肥料化や飼料化などの食品リサイクルされた生ごみを記入してください。焼却処分としている生ごみは、廃棄物の「可燃ごみ（一般廃棄物）」に記入してください。

「飲食用びん・缶類」、「ペットボトル」は、再生資源として分別・回収されたものを記入してください。また、自動販売機設置業者（ベンダー）の回収分も含めてください。廃棄物として分別・回収されたものは、廃棄物の「不燃ごみ（産業廃棄物）」に記入してください。

「処理区分」は、再利用率にしてください。

(8) **廃棄物**

「可燃ごみ（一般廃棄物）」は、焼却処分としているものを記入してください。また、一般廃棄物の医療廃棄物（脱脂綿、ガーゼ等）も含めてください。

「不燃ごみ（産業廃棄物）」は、廃プラスチックの「プラスチック・ビニール類」、産業廃棄物の「医療廃棄物」及び「金属、コンクリート、陶磁器くず等」を記入してください。

「処理区分」は、契約内容等を確認し、再利用率と廃棄量の内訳を記入してください。

臨時に排出される什器、電化製品、汚泥等は、記入しなくて構いません。

(9) **ごみ減量及び再利用の現況と課題 今年度の目標**

建築物で発生するごみの減量と再利用の現況や課題等について記入してください。

(10) **廃棄物管理責任者**

「所在地」は、区からの通知等が廃棄物管理責任者へ届く住所を記入してください。

「講習会受講歴」は、直近の「受講日」、「受講区」を記入してください。直近の受講歴が新宿区以外の区の場合は、その受講歴を記入してください。

(11) **ごみ減量及び再利用の目標**

今年度の計画と前年度の実績を比較して増減した理由と、ごみ減量及び再利用推進のための取り組みについて記入してください。

(12) **備考**

建替え、所有者変更の予定等がありましたら記入してください。

2 当該建築物を使用している事業者(所有者・テナント等)の名称一覧

事業者(所有者・テナント等)の名称、用途、階等を記入します。

年 月 日

当該建築物を使用している事業者(所有者・テナント等)の名称一覧

建築物名称	〇〇株式会社本社ビル
-------	------------

No.	名称	用途(※下欄から選んでください。)	階	備考
1	〇〇株式会社	事務所	10F	
2	〇〇ホールディングス株式会社	事務所	9F	
3	〇〇電鉄株式会社	事務所	8F	
4	学校法人〇〇学園	学校	7F	
5	株式会社〇〇研究所	工場・研究所	6F	
6	〇〇不動産株式会社	事務所	6F	
7	医療法人〇〇クリニック	医療機関	5F	
8	〇〇健康保険組合事務所/診療所	医療機関	4F	
9	〇〇ホテル株式会社	飲食店・ホテル・式場	3F~10F	
10	〇〇観光株式会社	店舗	2F	
11	〇〇倉庫株式会社	倉庫・流通センター	1F	
12	〇〇フード株式会社	飲食店・ホテル・式場	1F	
13	〇〇株式会社	店舗	1F	
14	駐車場	その他	B1F	駐車場
15	〇〇発電株式会社	工場・研究所	B2F	

※ 年月日は再利用計画書を提出する日付を記入してください。また、事業者(所有者・テナント等)の名称等については、提出日現在のものを記入してください。

※「用途」は、次から選んで記入してください。いずれにも該当しない場合は、「その他」とし、備考欄に業態等を記入してください。

「事務所」「店舗」「飲食店・ホテル・式場」「工場・研究所」 「倉庫・流通センター」「医療機関」「学校」「駅舎」「その他」

※ 複数の建築物を一括して提出している場合は、各建築物ごとに作成してください。

※ 所有者が使用している部分についても記入してください。また、1事業者が1棟全てを使用している場合についても作成してください。

※ この用紙に代わり、貴社で作成している「建物案内」等を提出いただいても構いません。

3 ごみ処理・リサイクルフロー図

廃棄物等の種類ごとに分別容器等の表示、中間持込先又は最終持込先等を記入します。

年 月 日

ごみ処理・リサイクルフロー図

建築物名称	〇〇株式会社本社ビル
-------	------------

種類	各フロアでの分別 (容器等の表示)	保管場所での分別 (容器等の表示)	廃棄物収集運搬業者 又は再生資源回収業者	中間持込先 又は最終持込先
① コピー・OA用紙・一般古紙	三段BOX	OA紙・コピー紙	㈱〇〇商会	㈱〇〇紙業
② 機密文書等	シークレットBOX		㈱〇〇セキュリティ	㈱〇〇〇社
③ 雑誌・パンフレット・色付き紙	三段BOX	雑誌・パンフレット	㈱〇〇商会	㈱〇〇紙業
④ 新聞紙・折込チラシ	三段BOX	新聞・チラシ	㈱〇〇商会	㈱〇〇紙業
⑤ 段ボール		ダンボール	〇〇商会㈱	㈱〇〇紙業
⑥ ミックスペーパー	ミックスペーパー	ミックスペーパー	〇〇クリーン㈱	㈱〇〇製紙
⑦ 再生に適さない紙類	再生に適さない紙類	可燃ごみ	〇〇クリーン㈱	23区清掃工場
⑧ 生ごみ	燃やすごみ	生ごみ	〇〇クリーン㈱	23区清掃工場
⑧ 生ごみ(食品リサイクル)	飲食店厨房	生ごみ冷蔵庫	〇〇サービス㈱	㈱〇〇エコロジー
⑨ その他(木・草・繊維・吸殻等)	燃やすごみ	可燃ごみ	〇〇クリーン㈱	23区清掃工場
⑩ 飲食用びん類	びん	びん	〇〇運輸㈱	〇〇センター㈱
⑪ 飲食用缶類	缶	缶	〇〇運輸㈱	〇〇センター㈱
⑫ ペットボトル	ペットボトル	ペットボトル	〇〇運輸㈱	〇〇センター㈱
⑩～⑫バンダー回収分	びん・缶・ペット		バンダー	〇〇金属・〇〇ガラス等
⑬ 食用油	飲食店厨房		〇〇商事㈱	〇〇商事㈱
⑭ 弁当ガラ	弁当容器	弁当ガラ	〇〇クリーン㈱	中防不燃ごみ処理センター
⑮ プラスチック・ビニール類	プラスチック・ビニール類	廃プラ	〇〇クリーン㈱	〇〇センター
⑯ 医療廃棄物	感染性廃棄物	特別管理産業廃棄物	㈱〇〇商事	㈱〇〇
⑰ その他(金属、ガラスくず等)	金属くず・ガラスくず	金属くず・ガラスくず等	㈱〇〇サービス	㈱〇〇エコ
⑱ 特定の事業活動に伴う可燃物	紙くず(産業廃棄物)	紙くず(産業廃棄物)	㈱〇〇商会	㈱〇〇製紙

※ 年月日は再利用計画書を提出する日付を記入してください。また、ごみ処理・リサイクルフロー図については、提出日現在のものを記入してください。

※ 中間持込先又は最終持込先は施設名を契約書等で確認し、記入してください。

4 廃棄物管理責任者選任届

廃棄物管理責任者を新たに選任又は変更する場合に作成します。選任した日から30日以内に提出してください。

第1号様式(第11条関係)

廃棄物管理責任者選任届

新宿区長

年 月 日

建築物名称 ○○株式会社本社ビル
 建築物所在地 新宿区新宿○丁目○番○号
 事業用延べ床面積 10,800 m²
 所有者住所 新宿区南新宿○丁目○番○号
 所有者氏名 ○○株式会社 代表取締役社長
 新宿 太郎
(法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)
 電話番号 00-0000-0000

新宿区リサイクル及び一般廃棄物の処理に関する条例第23条第2項の規定により、事業用大規模建築物における廃棄物管理責任者を以下のとおり選任したので届け出ます。

選 任 年 月 日			
○ 年 ○ 月 ○ 日			
新任廃棄物管理責任者			
会社名	○○株式会社		
所在地	〒 000-0000 新宿区新宿○-○-○		
所属名・職名	○○部○○課長		
ふりがな	おちあい はなこ		
氏名	落合 花子	前任廃棄物 管理責任者	大久保 次郎
電話番号	00-0000-0000 内線 0000	選任事由	人事異動のため
廃棄物管理責任者講習会受講歴			
受講年月日	○年 ○月 ○日	※ 廃棄物管理責任者講習会を受講してなくても、廃棄物管理責任者に選任することができます。	
受講区	○○区	※ 廃棄物管理責任者講習会は毎年秋ごろに実施しており、対象者には区から通知を送付します。	
備考		※ 対象者は事業用大規模建築物の廃棄物管理責任者で、(1)又は(2)に該当する方です。 (1) 廃棄物管理責任者講習会(他区を含む)を受講していない方 (2) 前回の受講から概ね3年経過した方	

- ※ 「新任廃棄物管理責任者」の「所在地」は、区からの通知等が廃棄物管理責任者へ確実に届く住所を記入してください。
- ※ 「選任事由」は、「人事異動のため」、「新規建築物」、「管理会社変更」等の事由を記入してください。
- ※ 「廃棄物管理責任者講習会受講歴」は、受講している場合、直近の「受講年月日」、「受講区」を記入してください。
また、直近の受講歴が新宿区以外の区の場合は、その受講歴を記入してください。

II

事業用大規模建築物及び廃棄物管理責任者について

1 事業用大規模建築物の所有者の義務 (新宿区リサイクル及び一般廃棄物の処理に関する条例)

- (1) 再利用を促進する等により、事業用大規模建築物から排出される事業系一般廃棄物を減量しなければなりません。
- (2) 事業用大規模建築物から排出される事業系一般廃棄物の減量及び適正な処理に関する業務を担当させるため、廃棄物管理責任者を選任し、区長に届け出なければなりません。
- (3) 再利用に関する計画を作成し、当該計画書を区長に提出しなければなりません。

2 事業用大規模建築物の対象

事業用途に供する部分の床面積の合計が 1,000㎡以上の建築物です。ただし、次のいずれかに該当するものを除きます。

- (1) 仮設等による短期的利用を目的とした建築物
- (2) 建築物の利用用途が明確で、その用途からの再利用対象物の発生がきん少と見込まれる建築物
- (3) その他区長が特に事業用大規模建築物から除く必要があると認めた建築物

また、事業用途に供する部分の床面積は、延床の総面積から住居用途に供する部分の床面積を除いた面積です。

3 事業用大規模建築物の単位

棟を単位とします。ただし、次のいずれかに該当する場合を、除きます。

- (1) 学校、病院及び工場等、同一敷地内において共通の用途に供せられ、廃棄物の処理及び保管が一体として行われる複数の建築物は、1棟の事業用大規模建築物とみなします。
- (2) 大規模な市街地開発事業によって開発された区域から発生する廃棄物の処理及び保管が一体として行われる場合は、当該区域内にある複数の建築物を1棟の事業用大規模建築物とみなします。
- (3) 事業用途に供する床面積の合計が 1,000㎡以上の1棟の建築物であっても、所有関係又は利用形態等により、一体的な取扱いが困難な場合は、各部分ごとに個別の建築物とみなします。ただし、この場合、個別とみなした建築物の床面積が 1,000㎡に満たない場合でも、それぞれ1棟の事業用大規模建築物とみなします。

4 事業用大規模建築物の所有者

所有者とは、建築物に対し民法上の所有権を有するものとします。ただし、次のいずれかに該当する者は、所有者とみなします。

- (1) 建築物の共有者又は区分所有者が構成する管理組合の代表者
- (2) 前号の管理組合が構成されていない場合は、建築物の共有者又は区分所有者の中から選んだ代表者
- (3) 建築物の全部を賃借その他の事由により、事実上占有して使用している者
- (4) 建築物の所有者から、その建築物の維持及び清掃業務等の管理にとどまらず、総合的な管理権限を与えられている者

5 廃棄物管理責任者の選任

廃棄物管理責任者は、事業用大規模建築物ごとに1名選任してください。廃棄物管理責任者は、資格等の取得は必要ありませんが、建築物から生じる廃棄物の適正処理及びリサイクルの推進について職務権限を有し、その役割を担える方を選任してください。

6 廃棄物管理責任者の役割

- (1) 廃棄物及び再利用対象物の量、処理状況の実態の把握
- (2) 廃棄物の発生抑制及び排出抑制の推進
- (3) 廃棄物の再利用及び資源化の推進
- (4) 建築物利用者(社員、テナント、施設利用者等)に対する廃棄物の発生抑制、排出抑制及び再利用、資源化のための指導・要請
- (5) 区及び所有者との連絡調整

新宿区の収集を利用している事業者の廃棄物発生量等について

新宿区の事業系有料ごみ処理券(シール)を貼付して新宿区の収集を利用している事業者で廃棄物発生量等の把握が困難な場合は、1ℓ = 0.19kgとして換算してください。

袋の大きさと、事業系有料ごみ処理券(シール)の換算重量表(1ℓ = 0.19kg)

券(シール)の種類	70ℓ	45ℓ	20ℓ	10ℓ
換算重量	13.30kg	8.55kg	3.80kg	1.90kg

ミックスペーパーについて

お菓子の箱、メモ用紙、紙片、はがき、封筒、写真、シュレッダーくずなどのリサイクルできる紙類です。

詳しい品目については、収集運搬業者に確認してください。



廃棄物管理責任者選任届

年 月 日

新宿 区 長

建築物名称

建築物所在地

事業用延べ床面積 ㎡

所有者住所

所有者氏名

(法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)
電話番号

新宿区リサイクル及び一般廃棄物の処理に関する条例第23条第2項の規定により、事業用大規模建築物における廃棄物管理責任者を以下のとおり選任したので届け出ます。

選 任 年 月 日			
年 月 日			
新 任 廃 棄 物 管 理 責 任 者			
会 社 名			
所 在 地			
所 属 名 ・ 職 名			
ふ り が な			
氏 名		前任廃棄物 管理責任者	
電 話 番 号	内線	選任事由	
廃 棄 物 管 理 責 任 者 講 習 会 受 講 歴			
受 講 年 月 日	年 月 日	※ 廃棄物管理責任者講習会を受講していなくても、廃棄物管理責任者に選任することができます。	
受 講 区		※ 廃棄物管理責任者講習会は毎年秋ごろに実施しており、対象者には区から通知を送付します。	
備 考			
		※ 対象者は事業用大規模建築物の廃棄物管理責任者で、(1)又は(2)に該当する方です。 (1) 廃棄物管理責任者講習会(他区を含む)を受講していない方 (2) 前回の受講から概ね3年経過した方	

※ 「新任廃棄物管理責任者」の「所在地」は、区からの通知等が廃棄物管理責任者へ確実に届く住所を記入してください。

※ 「選任事由」は、「人事異動のため」、「新規建築物」、「管理会社変更」等の事由を記入してください。

※ 「廃棄物管理責任者講習会受講歴」は、受講している場合、直近の「受講年月日」、「受講区」を記入してください。

また、直近の受講歴が新宿区以外の区の場合は、その受講歴を記入してください。